～私の抱負～

【奥野　寿夫】

安心して暮らせる希望が持てる菊川市に

収入が増えない中で物価高騰が相次ぎ、税金や社会保険料の負担も大きく、多くの市民が日々の暮らしや将来に不安を感じています。そんな市民の不安を少しでも減らし、安心して暮らせる希望が持てる菊川市をめざします。

障がい者、生活困窮世帯はもとより、生活苦や不安を訴える人が多い子育て世帯や高齢者の負担を軽減するため、学校給食費や保育料の無償化、国保税の負担軽減、補聴器の購入助成などに取り組みます。また、農業など産業の活性化、教育文化の充実などの課題にも、市民とともに取り組みます。

さらに、南海トラフ地震や気候危機による風水害への対応を強め、危険な浜岡原発の再稼働、リニア中央新幹線工事による大井川用水の減少には反対していきます。

【藤原万起子】

対話を大切に、菊川の未来に備える

菊川大好き、菊川のファンを増やすため、多くの市民との対話をする場を増やし、市民参加型の政策提言をしていきます。

「命を守る」地域の安全と防災対策の強化、緊急時の対応、女性の防災組織への参画推進。

「未来につなぐ」地域社会への貢献。地域社会活性化の推進。こどもたちの安全を守り、豊かな教育を支える環境づくり。

「全世代いきいきと」生涯現役。性別、年齢関係なく働く人たちが健康で、安心で幸せに働ける仕組みづくり。ひとりぼっちのいない誰もが穏やかな日常を過ごせるまちづくり。

これまでの市民活動の経験を活かして、今後起こりうる様々な課題に積極的に取り組み、いざという時困らないまちのために、長い目線でのまちづくりをしていきたいです。

【石井　祐太】

誰もが活躍できる菊川へ

菊川市最大の魅力は、多くのアイデアを持つ人々が居ることだと思います。

その可能性を最大限に活かし、誰もが自由に活動できる街をつくるためには、基礎自治体の強化が不可欠です。

私は、その実現のために「市政の見える化」「福祉の充実」「遊び場の充実」を推進します。市政を透明化し、市民の皆さまが行政の動きを把握できるようにすることで、まちづくりへの参加を促します。福祉の充実により、高齢者や子育て世代が安心して暮らせる環境を整え、さらに公園等の遊び場の充実を進める事で、こどもたちの健やかな成長を支えます。

私は「聴く側」の精神を忘れず、市民の皆さまの声を大切にしながら、誰もが活躍できる菊川を実現するために尽力してまいります。

【渡辺　修】

人口減少に向かう街

菊川市は全国的な人口減少傾向の中で、比較的緩やかな推移を示し、前回国勢調査では県内でも人口増加を実現した4自治体のひとつです。しかし、出生数が３００人以下へと減少する現実を踏まえ、次世代を担うこどもたちの教育環境の充実は急務となっています。

茶農家として、また農業に携わる者として、地域農業の課題を肌で感じています。茶業、稲作、野菜栽培における担い手不足は深刻化し、荒廃農地の増加が進んでいます。

２期目では、教育支援の拡充と、農業後継者の育成、荒廃農地の有効活用に向けた施策の実現に全力を注ぎます。こどもたちの未来と農業の持続的発展の両立を目指し、次世代に誇れる菊川市を築いてまいります。